

桜咲く春の陽気にペタンクを楽しむ



味方の好投にこのポーズ



投げたり転がしたりして、ビュットに近づけます



子どもと一緒に楽しめます



どれが一番近いのか…

3月20日に北多久運動広場で「第4回市民健康づくりペタンク大会」が行われ、市内の愛好者から初心者まで約70人が参加しました。

ペタンクはビュットと呼ばれる約3cmの大きさの標的球に、650gほどの重さの金属製のボールを相手よりも近くに投げるゲームで、この日は3人ずつのチーム戦で競われました。相手の投げたボールを弾き飛ばしてもよいルールのため、最後の一投まで勝負がわからないことも多く、会場は参加者の歓声と笑いでにぎわいました。年齢・体力に関係なく楽しめるスポーツですので、地域の親睦会などで取り入れてみては、いかがでしょうか。



市長のWindow

市長コラム

▼市民のみなさんへ

「手紙～拝啓 十五の君へ」のころ

今春の中学校卒業式でアンジェラ・アキさんの詩を紹介しました。ご本人が15歳の頃に書いた未来の自分宛の手紙。それを大切に保管してくれていた人がいました。お母さんです。受け取って読み返すうちに、思いが溢れ、詩曲になったのです。

手紙はまず未来の自分に、どこで何をしているだろうかと問いかけます。実際に、15歳の頃に誰にも話せない悩みがあったのです。悩みで潰れそうに思えたり、涙のない日がなかったり、自分は存在しなくてもいいと考え込んだり…。まさに青春という光の季節の苦悩という影。そこには誰も信じられず壊れそうに立ちすくむ、小さな自分がいます。先日偶然聴いたらラジオでも、アンジェラさんは当時を懐かしく語っていました。

次は15歳へのエールです。人生行路を経て語れるメッセージです。誰もがきっと「自分とは何者で、どこへ進むべきか」と自問したはず。その答えは見えそうにないと思えます。でも違うんだよ、求め続ければ答えが見えるよ、悩むのは君だけじゃないよ、と震える肩を抱くように語りかける詩です。

確かに人生は平穏ばかりではありません。でも勇気と希望をもち、自分の夢に挑むことが若者らしさです。自分を信じ続ける。その小事がどれほど大事か。心に響く旋律で届きます。

聴いてほしい楽曲です。心で感じてほしい「手紙」です。いつも自分を信じ笑顔で生き、青春を謳歌してほしいという誘いがあります。未来は若者を待っています。君達は希望です。いつかチャンスが来ます。ただし、誠実な努力を重ねていればですが…。それを忘れず、さあ飛べ。自分を信じて。(俊彦)

市長交際費支出状況

▼平成20年度2月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	3	35,750
	累計	84	279,875
見舞い	今月分	0	0
	累計	6	60,000
御祝	今月分	1	3,255
	累計	43	220,105
賛助	今月分	0	0
	累計	8	47,000
激励金	今月分	0	0
	累計	1	20,000
接遇	今月分	3	10,680
	累計	68	165,630
会費	今月分	0	0
	累計	26	118,000
その他	今月分	0	0
	累計	6	27,260
合計	今月分	7	49,685
	累計	242	937,870

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115